

麻疹(はしか)に関する注意喚起

平成 30 年 3 月より、沖縄県において、麻疹患者数の増加が報告されています。今後、沖縄県以外においても麻疹患者が発生する可能性があることから、厚生労働省が注意を呼びかけています。保健管理センターにおいても学生さんに対し、麻疹ワクチン接種歴の確認や学部によっては抗体検査などを実施してきましたが、自身の麻疹罹患歴や麻疹ワクチンの接種歴を再確認し、感染予防には十分留意してください。

麻疹に罹患したことがなく、かつ麻疹ワクチンを 2 回接種していない方の中で、沖縄から帰った後、2 週間以内に発熱等の症状がある場合は、麻疹の可能性も否定できませんので、あらかじめ医療機関に電話で相談をしてから受診してください。その場合、大学への登校や出勤は控え、保健管理センターに電話で指示を仰いでください。

【麻疹について】

麻疹は麻疹ウイルスを原因とする感染症で、高熱や発疹が出現し、肺炎や脳炎などの合併症で死亡することもある病気です。麻疹ウイルスに対する特效薬はありません。また、空気感染を主体として感染力が非常に強いのが特徴です。

麻疹を予防するためには麻疹ワクチンを 2 回接種し、麻疹を予防するための十分な抗体(免疫力)を持つことが重要となります。また、一度麻疹に罹患した人は、基本的には終生免疫を獲得します。麻疹に罹患したことのない方は、母子手帳などで麻疹ワクチンを 2 回接種したかどうか確認し、1 回以下の場合は、医療機関にて 2 回目のワクチン接種を行うことをお勧めします。ただし、過去に副作用が出現し、ワクチンの接種が困難とされている方については、この限りではありません。

なお、母子手帳あるいは、母子手帳の中でワクチン接種歴が記載された部分の写しを保健管理センターまで持参してもらえれば、スタッフが麻疹ワクチンの接種歴を確認し、ワクチン接種が望ましい場合は、医療機関を紹介しています。